



依存問題に関するQ&A



Q ギャンブルをやめるためには、意志を強く持てばよいのではないのでしょうか？

A 意志を強く持って解決されている方も多数いらっしゃいます。しかし、相談を受けることが解決の近道になることもあります。

Q パチンコが生活に影響を及ぼしているのですが、遊ぶ台を再考したほうが良いのでしょうか。

A 個人差があるので一概には言えませんが、重要なのは、原因となっている背景の見極めと、その背景に向き合うことです。たんに射幸性の高い台が依存しやすく、低い台で遊べば大丈夫とは言えません。

Q 依存症は病気なので病院で治療対象と聞きました。病院に行けばやめることができるのでしょうか。

A 医療の力が必要な人もいますが、原因が生活や人生の問題である人は、病院に行くだけでは解決できません。

Q パチンコをやめる気持ちはありませんが、相談できますか？

A ぜひ、相談してください。やめたい方にはやめるための支援を、コントロールしてやっていきたい方にはコントロールすることをめざした支援を提供しています。

Q 日本は依存症の疑いのある人が諸外国と比べて多いということを聞きました。ギャンブルを制限したり禁止したりすれば、すべての問題が解決するのではないのでしょうか。

A 諸外国と比べて深刻だという報道は必ずしも正確ではなく確固たる根拠があるわけではありません。また、「のめり込み」には「原因や背景」があり、禁止すればいいという考えでは、問題を起こしてしまった人の本当の助けにはなりません。

ギャンブルの問題は個別性があるため、それぞれに向き合い方があります。個別のニーズに柔軟に対応するために、あえて公的補助を受けずに活動しています。ワンデーポートは2000年の開設以来、パチンコ業界や個人の皆様からのご支援で運営されています。

プロジェクトに携わる専門家チーム・団体

〈専門家チーム〉

- 朝倉 新 [児童精神科医・新泉こころのクリニック]
- 今井 忠 [東京都自閉症協会・理事長]
- 稲村 厚 [司法書士・稲村厚司法書士事務所]
- 岩崎 眞弓 [社会保険労務士・岩崎社会保険労務士事務所]
- 植松 育子 [司法書士・うえまつ司法書士事務所]
- 小野寺正夫 [住まいのサポーター・有限会社第一産業]
- 高澤 和彦 [精神保健福祉士・浦和まほろ相談室]
- 高橋 洋平 [弁護士・高橋洋平法律事務所]
- 早坂 毅 [税理士・早坂毅税理士事務所]

〈団体〉

- 一般社団法人RCPG
- 認定NPO法人リカバリーサポート・ネットワーク
- 依存の問題の支援に携わる人たちの勉強会



認定NPO法人 ワンデーポート

〒246-0013 横浜市瀬谷区相沢4-10-1 クボタハイツ101



TEL | 045-303-2621

FAX | 045-303-2629

HP | [ワンデーポート 検索](http://www5f.biglobe.ne.jp/~onedayport/)
http://www5f.biglobe.ne.jp/~onedayport/

E-mail | oneday.yokohama@knd.biglobe.ne.jp

ギャンブル等依存症問題

正しく向き合うために

～ 個別理解と個別対応を～



相談料無料
(電話相談随時)

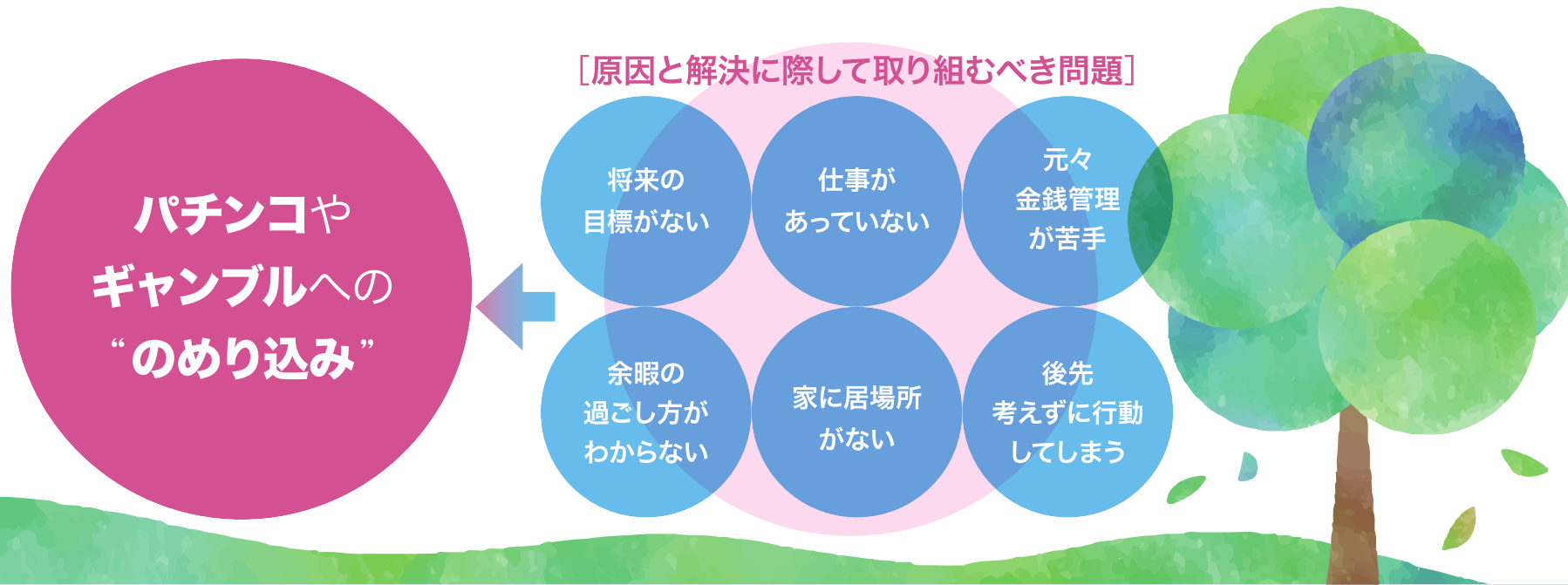
045-303-2621

お気軽にご相談ください

本人対面相談随時 | 家族対面相談は金曜日のみ

パチンコやギャンブルへの“のめり込み”には「原因」や「背景」があります。

表面的に起きている問題はギャンブルへののめり込みに起因しているようにみえても、その背景には個別的な問題を抱えています。ギャンブル依存症という病気が原因と考えるのではなく、それぞれの背景に起因している問題に直接向き合うことが重要です。



CASE 1 山下さんの場合

サポートA利用

対人関係が苦手な山下さんは営業職にストレスを感じ、仕事中にパチンコをすることが日課になっていました。妻に内緒で借金をしていたことが発覚し、ワンデーポートの個別相談を受けました。仕事のストレスとの関連が大きいのではないかと見立てを伝えました。妻も山下さんも納得して転職をしました。それ以来、パチンコはやらなくなり、安定した生活を送っています。借金についてはチームの司法書士が介入しました。

CASE 2 高木さんの場合

サポートB サポートD 利用

単身生活の高木さんは、離職して生活保護を受給していました。保護費をパチンコで使ってしまふことから、ワンデーポर्टに訪れました。話を聞くと、金銭管理は元々苦手であるということがわかりました。金銭管理と余暇活動はワンデーポर्टで支援していくことにしました。就労や社会参加については、生活保護のワーカーさんとご本人の希望に沿って関わっていくことになっています。

CASE 3 斉藤さんの場合

サポートC サポートD 利用

子どもの頃から勉強が苦手な貯金もしたことがなく、片づけが苦手だったそうです。家族の勧めで入所していました。ワンデーポर्टの見立ては軽度の知的障害の疑いでした。家族、ご本人の希望を確認してチームの精神科医の診断と愛の手帳(療育手帳)の取得を支援し、障害者グループホームに入居しました。仕事は障害者雇用で採用され安定した生活を送るようになりました。パチンコをたまにやることがありますが、生活が安定したことで、問題になることなく遊んでいるようです。

CASE 4 遠藤さんの場合

サポートC利用

大学生活中にパチンコへののめり込み、退学しました。22歳のときに入所しました。ワンデーポर्टではスポーツやボランティアを経験し、将来の目標を見つけることができましたと言います。ワンデーポर्टを退所後に大学に復学しました。その後大学を卒業し、就職、結婚と順調に進んでいます。パチンコへののめり込んだ原因は、将来の目標設定が曖昧だったからではないかといま振り返っています。

ワンデーポートが提供しているメニュー

サポートA 面談による見立てとアドバイス

家族相談、本人相談を通して、ご本人の問題を整理しその人にあった解決方法をご提示いたします。

▶無料



サポートB 通所を通しての見立てとアドバイス

ご本人のニーズに沿った通所により、その人にあった解決策をご提示いたします。ご要望があれば、心理検査を目的とした精神科クリニックへの同行や、生活全般の相談に応じます。

▶一部有料 月額/10,800円~32,400円
※生活保護の方も可



サポートC 入所による見立てと生活の立て直し

1ヶ月~2年程度の入所により、生活の立て直しと依存する背景の見立てを行い、個別に解決方法をご提示します。

▶入所費 月額/190,000円
(家賃、生活費を含む)
※生活保護の方は保護費内で対応します



サポートD 金銭管理など継続支援

サポートA~Cの後、必要な支援(金銭管理や生活相談)を継続いたします。

▶月額/3,240円



出張相談やセミナー開催などにも応じていますので
お気軽にご相談ください

プロジェクト責任者/中村 努(ワンデーポर्ट施設長)